



Morikawa Toen *The 200th Anniversary of His Birth*
September 23 — November 14, 2021
Nara Prefectural Museum of Art

これが奈良一刀彫。

上:《福の神》明治22年(1889) 個人蔵 [前期展示] 下:《立鹿》個人蔵 撮影:桑原英文

主催:奈良県立美術館

特別協力:独立行政法人国立文化財機構文化財活用センター、東京国立博物館、奈良国立博物館

後援:NHK奈良放送局、奈良テレビ放送株式会社、株式会社奈良新聞社、西日本旅客鉄道株式会社、

近畿日本鉄道株式会社、阪神電気鉄道株式会社、奈良交通株式会社、奈良県商工会議所連合会、

奈良県商工会連合会、奈良県中小企業団体中央会、株式会社南都銀行、(一社)日本旅行業協会、

(一社)全国旅行業協会奈良県支部、(一社)国際観光日本レストラン協会、(一財)奈良県ビジターズビューロー、

(公社)奈良市観光協会、奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合

本展示会は国立博物館収蔵品貸与促進事業の特別協力を受けています。この事業は国立博物館が全国の美術館・博物館に対し、地域ゆかりの収蔵品を貸し出し、文化財活用センターが輸送費等を支出する事業です。2021年度はこの他に、やないづ町立斎藤清美術館、佐賀県立美術館、那覇市立壺屋焼物博物館、桑名市博物館で開催されます。本事業の募集については、<http://cpcp.nich.go.jp/>をご覧ください。



2021年9月23日(木・祝) — 11月14日(日)

森川杜園展

奈良県立美術館 — 特別展 — 生誕200周年記念



幕末から明治へ——

激動の奈良を生きた無二の異才、

森川杜園 (もりかわとえん 1820-94)

その妙技と芸術の全貌に迫る



1



2



3



4



5



6

①《融》明治20年(1887)公益財団法人名勝依水園・寧楽美術館蔵[後期展示] ②《観音菩薩立像(九面観音立像)(模造)》明治25年(1892)東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives ③《正倉院御物写 第4巻》(部分) 東京大学大学院工学研究科建築学専攻蔵 ④《能人形 牛若・熊坂》明治時代(19世紀) 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives ⑤《伊勢海老香合》個人蔵 撮影: 桂修平 ⑥《御生玉伏白鹿座像》慶応2年(1866) 春日大社蔵

森川杜園は、幕末から明治にかけて、奈良人形(一刀彫)の制作を軸に活躍した奈良県出身の彫工です。奈良人形は、春日大社の摂社・春日若宮の祭礼で用いられる花笠や島台の装飾に淵源を持つと伝わる奈良の伝統工芸で、簡素な造形に彩色を施した木彫りの人形です。杜園は、絵師・狂言師として活動する一方、画家で漆芸家の柴田是真のすすめにより奈良人形の制作を開始し、卓越した技術と豊かな表現力でこれを芸術の域にまで高めました。また、明治維新後は、政府による文化財保護活動や、奈良県の振興を目的とする奈良博覧会社の事業に携わり、正倉院宝物や県下の名宝の模写・模造の制作にも取り組みました。杜園の妙技が発揮されたこれら後年の作品は、シカゴ万国博覧会をはじめとする国内外の博覧会に出品され、日本の彫刻史に確かな足跡を残すこととなりました。杜園の生誕200周年を記念する本展では、軽妙洒落な奈良人形や独自の境地を拓いた鹿彫、そして超絶技巧が発揮された名宝の模造作品など、杜園の代表作およそ200点の展示により、その歩みと芸術を振り返ります。

◆講演会(予約制)

「森川杜園とその芸術」

講師: 浅井允晶氏(堺女子短期大学名誉教授)

日時: 10月31日(日) 14時~(約90分)

場所: 当館1Fレクチャールーム(定員30名)

◆美術講座A(予約制)

「彫工から彫刻家へ—森川杜園とその時代」(仮題)

講師: 松川綾子(当館指導学芸員)

日時: 10月10日(日) 14時~(約90分)

場所: 当館1Fレクチャールーム(定員30名)

◆美術講座B(予約制)

「森川杜園とその前後—江戸後期から明治時代の奈良人形師たち」(仮題)

講師: 飯島礼子(当館主任学芸員)

日時: 10月24日(日) 14時~(約90分)

場所: 当館1Fレクチャールーム(定員30名)

◆当館学芸員によるギャラリートーク

9月25日、10月16日、11月6日(いずれも土曜) 14時~

事前申込み不要、当日先着順(定員30名)

*イベントのご参加には観覧券が必要です。

*聴講申込み方法などは当館ホームページでご案内します(申込み多数の場合は抽選)。

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、入館に際しマスク着用・検温などのご協力をお願いいたします。また、状況によってイベントの実施方法などを変更または開催中止となる場合があります。

●同時開催・連携展示

〈1Fギャラリー/入場無料〉

「なら工芸館リニューアル記念~なら工芸歳時記~」

8月にリニューアルしたなら工芸館の収蔵品等を通じ、奈良の四季と工芸の美を紹介します。また、連携企画として奈良一刀彫の実演展示を行います。

10月2日(土)・3日(日): 本田晃

10月10日(日)・11月14日(日): 平井和希

いずれも13時~16時30分

企画: なら工芸館 問い合わせ先: Tel 0742-27-0033

奈良県立美術館

〒630-8213 奈良市登大路町10-6

Tel 0742-23-3968 Fax 0742-22-7032

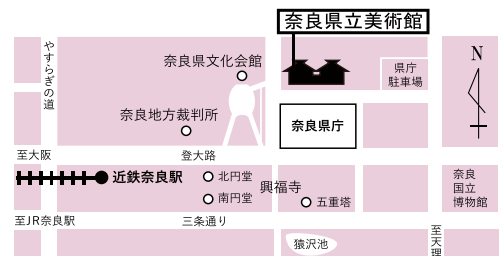
テレフォンサービス 0742-23-1700

ツイッター @ArtemuseumN フェイスブック @narakenmuseum

近鉄奈良駅1番出口から徒歩5分、
JR奈良駅から奈良交通バス「県庁前」下車
開館時間: 9時~17時(入館は閉館の30分前まで)
休館日: 毎週月曜日(11月1日・8日は開館)
観覧料: 一般=800円、大・高生=600円、中・小生=400円

[1]新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、団体料金の設定はございません [2]身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方と介助の方1人、外国人観光客(長期滞在者・留学生を含む)と付添の観光ボランティアガイドの方は、無料でご観覧いただけます

奈良県立美術館ファンクラブメール会員募集中!
詳しくはホームページで www.pref.nara.jp/11842.htm



[次回予告]

奈良県立美術館所蔵名品展(仮称)

2022年2月5日(土)—3月27日(日)/4,100点を超える
当館の所蔵品から選りすぐった日本美術の精華を展示

